

結果の概要

刑務所・拘置所等

1 被收容者

(1) 收容状況

最近10年間の全国の刑務所及び拘置所の1日平均收容人員の推移は、第1表のとおりである。平成5年に増加に転じて以降、年々増加していたが、同20年から連続して減少しており、同25年は前年に比べ3,675人(5.4%)減少した64,890人(男59,718人、女5,172人)となっている。

第1表 1日平均收容人員の推移

区	分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
総	数	75,289	77,932	80,335	80,684	78,533	76,019	74,232	71,378	68,565	64,890
男		70,887	73,238	75,331	75,490	73,271	70,794	68,948	66,046	63,238	59,718
女		4,402	4,694	5,003	5,194	5,262	5,224	5,284	5,332	5,327	5,172
対前年比		4.7	3.5	3.1	0.4	-2.7	-3.2	-2.4	-3.8	-3.9	-5.4

(注) 刑務所・拘置所等(以下記載を省略。)の2表(法務省ホームページにおける統計表番号「13-00-02」。以下統計表番号のみを記載。)参照

平成25年における1日平均收容人員の内訳は、第2表のとおりである。被收容者の種別で見ると、受刑者が57,039人(87.9%)、次いで、被告人が6,682人(10.3%)、労役場留置者が935人(1.4%)の順となっている。

第2表 1日平均收容人員の内訳

区	分	総	数	受	刑	者	死	刑	確	定	者	被	告	人	被	疑	者	労	役	場	留	置	者	そ	の	他
人	員	64,890		57,039		133		6,682		95		935		4												
(構	(100.0)		(87.9)		(0.2)		(10.3)		(0.1)		(1.4)		(0.0)												
対前年比		-5.4		-4.9		0.8		-7.9		3.3		-14.5		-33.3												

(注) 1表(「13-00-01」)及び2表(「13-00-02」)参照

(2) 年末收容人員

最近10年間の年末における收容人員の推移は、第3表のとおりである。收容率(年末における收容定員に対する年末收容人員の比率)は、平成13年から同18年まで6年連続して100%を超過していたが、同19年から7年連続して收容定員を下回っている。

第3表 年末收容人員の推移

区	分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
年末收容人員		76,413	79,055	81,255	79,809	76,881	75,250	72,975	69,876	67,008	62,971
收容定員		72,182	76,043	79,375	85,214	87,754	90,354	90,182	90,547	90,681	90,536
收容率		105.9	104.0	102.4	93.7	87.6	83.3	80.9	77.2	73.9	69.6

(注) 3表(「13-00-03」)参照

(3) 入・出所人員

最近10年間の入・出所人員の推移は、第4表のとおりである。刑務所及び拘置所の入所人員は、平成16年以降減少し、同25年は前年に比べ3,598人(7.7%)減少した43,379人(男39,203人、女4,176人)となっている。出所人員も、平成17年以降減少し、同25年は前年に比べ2,429人(4.9%)減少した47,416人(男43,017人、女4,399人)となっている。

第4表 入・出所人員の推移

区分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
入所人員 (指数)	67,612 (100)	65,857 (97)	62,804 (93)	57,491 (85)	54,923 (81)	53,437 (79)	51,924 (77)	49,109 (73)	46,977 (69)	43,379 (64)
出所人員 (指数)	64,933 (100)	63,215 (97)	60,604 (93)	58,937 (91)	57,851 (89)	55,068 (85)	54,199 (83)	52,208 (80)	49,845 (77)	47,416 (73)

(注) 14表(「13-00-14」)参照

(4) 外国人被收容者

最近10年間の年末收容人員のうち、外国人被收容者人員の推移は、第5表のとおりである。平成25年の年末における外国人被收容者人員は、前年に比べ355人(8.8%)減少した3,657人となり、外国人受刑者人員は、324人(9.6%)減少した3,044人となっている。

第5表 年末收容人員のうち外国人被收容者人員の推移

区分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
年末收容人員(A)	76,413	79,055	81,255	79,809	76,881	75,250	72,975	69,876	67,008	62,971
うち、外国人被收容者人員(B)	6,020	6,183	6,179	5,919	5,353	5,027	4,803	4,433	4,012	3,657
うち、外国人受刑者人員	4,832	5,177	5,216	5,139	4,681	4,371	4,113	3,813	3,368	3,044
年末收容人員に占める比率 [(B)/(A)×100]	7.9	7.8	7.6	7.4	7.0	6.7	6.6	6.3	6.0	5.8

(注) 3表(「13-00-03」)及び8表(「13-00-08」)参照

平成25年の年末在所外国人被收容者の内訳は、第6表のとおりである。

このうち、来日外国人は2,472人であり、外国人被收容者年末收容人員に占める割合は67.6%となっている。

第6表 年末在所外国人被收容者の内訳

区分	総数	受刑者	未決拘禁者	その他
外国人被收容者 年末收容人員		3,657	3,044	490
うち、来日外国人	2,472		2,021	341

(注) 8表(「13-00-08」)及び9表(「13-00-09」)参照

平成25年の年末在所来日外国人被收容者の国籍は、第7表のとおりである。国籍別の人員総数は、中国が823人(33.3%)と最も多く、次いで、ブラジルが266人(10.8%)、イランが221人(8.9%)、ベトナムが129人(5.2%)の順となっている。

第7表 年末在所来日外国人被收容者の国籍

区分	総数	中国	ブラジル	イラン	ベトナム	フィリピン	韓国・朝鮮	ナイジェリア	メキシコ	アメリカ合衆国	ペルー	タイ	その他
人員総数	2,472	823	266	221	129	111	105	75	71	62	59	43	507
男	2,144	732	254	221	108	67	83	75	53	52	55	21	423
女	328	91	12	-	21	44	22	-	18	10	4	22	84
構成比率													
総数	100.0	33.3	10.8	8.9	5.2	4.5	4.2	3.0	2.9	2.5	2.4	1.7	20.5
男	100.0	34.1	11.8	10.3	5.0	3.1	3.9	3.5	2.5	2.4	2.6	1.0	19.7
女	100.0	27.7	3.7	-	6.4	13.4	6.7	-	5.5	3.0	1.2	6.7	25.6

(注) 9表(「13-00-09」)参照

2 新受刑者

(1) 新受刑者の収容状況

最近10年間の新受刑者人員の推移は、第8表のとおりである。新受刑者人員の総数は平成4年から同18年まで15年連続して増加していたが、平成19年から7年連続して減少しており、同25年は前年と比べ2,025人(8.2%)減少した22,755人(男20,643人、女2,112人)となっている。

第8表 新受刑者人員の推移

区	分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
人	総	32,090	32,789	33,032	30,450	28,963	28,293	27,079	25,499	24,780	22,755
	男	30,089	30,607	30,699	28,272	26,768	26,123	24,873	23,273	22,555	20,643
	女	2,001	2,182	2,333	2,178	2,195	2,170	2,206	2,226	2,225	2,112
指	総	100	102	103	95	90	88	84	79	77	71
	男	100	102	102	94	89	87	83	77	75	69
	女	100	109	117	109	110	108	110	111	111	106

(注) 18表(「13-00-18」)参照

(2) 新受刑者の年齢

平成25年における新受刑者の年齢別人員は、第9表のとおりである。これを総数の構成比で見ると、40～44歳が14.3%(3,257人)と最も高く、次いで35～39歳が13.5%(3,063人)、45～49歳が12.1%(2,750人)の順となっている。

第9表 新受刑者の年齢別人員

区	分	総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
人	総	22,755	31	1,273	2,112	2,609	3,063	3,257	2,750	2,172	1,526	1,734	1,153	1,075
	男	20,643	27	1,201	1,937	2,366	2,763	2,921	2,525	1,997	1,399	1,585	1,039	883
	女	2,112	4	72	175	243	300	336	225	175	127	149	114	192
構	成	100.0	0.1	5.6	9.3	11.5	13.5	14.3	12.1	9.5	6.7	7.6	5.1	4.7
	男	100.0	0.1	5.8	9.4	11.5	13.4	14.2	12.2	9.7	6.8	7.7	5.0	4.3
	女	100.0	0.2	3.4	8.3	11.5	14.2	15.9	10.7	8.3	6.0	7.1	5.4	9.1
前	年	-8.2	-20.5	-4.0	-11.8	-8.3	-11.0	-9.7	-3.9	-4.7	-18.0	-10.4	3.9	-0.6
	総	-8.5	-27.0	-2.8	-11.9	-9.4	-10.4	-10.7	-2.8	-5.7	-18.9	-10.7	3.5	-2.2
	男	-5.1	100.0	-20.9	-10.7	3.4	-16.2	0.0	-14.8	8.7	-6.6	-7.5	7.5	7.3

(注) 22表(「13-00-22」)参照

また、最近10年間の新受刑者のうち60歳以上人員の推移は、第10表のとおりである。平成25年における新受刑者のうち60歳以上人員の総数は、前年と比べ165人(4.0%)減少した3,962人(男3,507人、女455人)となっている。

第10表 新受刑者のうち60歳以上人員の推移

区	分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
人	総	3,129	3,460	3,717	3,727	4,017	4,056	4,093	4,069	4,127	3,962
	男	2,920	3,229	3,417	3,437	3,670	3,673	3,699	3,639	3,681	3,507
	女	209	231	300	290	347	383	394	430	446	455
構	成	9.8	10.6	11.3	12.2	13.9	14.3	15.1	16.0	16.7	17.4
	男	9.7	10.5	11.1	12.2	13.7	14.1	14.9	15.6	16.3	17.0
	女	10.4	10.6	12.9	13.3	15.8	17.6	17.9	19.3	20.0	21.5

(注) 22表(「13-00-22」)参照

(3) 新受刑者の罪名

平成25年における新受刑者の罪名別人員は、第11表のとおりである。これを、罪名別の総数の構成比で見ると、窃盗が33.2%（7,557人）と最も高く、次いで、覚せい剤取締法違反が26.3%（5,990人）、詐欺が8.5%（1,930人）、傷害が5.2%（1,191人）、道路交通法違反が4.7%（1,063人）、強制わいせつ・強姦が3.0%（675人）の順となっている。

第11表 新受刑者の罪名別人員

区	分	総数	構成比	男	構成比	女	構成比
総	数	22,755	100.0	20,643	100.0	2,112	100.0
刑	犯	14,620	64.2	13,402	64.9	1,218	57.7
放	火	125	0.5	109	0.5	16	0.8
文	等	100	0.4	92	0.4	8	0.4
強	強	675	3.0	672	3.3	3	0.1
制	姦	23	0.1	23	0.1	-	-
わ	人	257	1.1	215	1.0	42	2.0
い	害	1,191	5.2	1,151	5.6	40	1.9
せ	傷	65	0.3	63	0.3	2	0.1
つ	傷	379	1.7	355	1.7	24	1.1
・	傷	7,557	33.2	6,673	32.3	884	41.9
強	盗	646	2.8	628	3.0	18	0.9
取	欺	1,930	8.5	1,812	8.8	118	5.6
締	喝	264	1.2	259	1.3	5	0.2
法	任	321	1.4	287	1.4	34	1.6
違	務	157	0.7	156	0.8	1	0.0
反	の	930	4.1	907	4.4	23	1.1
の	他						
特	犯	8,135	35.8	7,241	35.1	894	42.3
別	法						
銃	銃	114	0.5	113	0.5	1	0.0
砲	類	27	0.1	24	0.1	3	0.1
刀	所	69	0.3	60	0.3	9	0.4
剣	持	5,990	26.3	5,182	25.1	808	38.3
類	取	1,063	4.7	1,019	4.9	44	2.1
所	締	26	0.1	19	0.1	7	0.3
持	法	846	3.7	824	4.0	22	1.0
等	他						
取							
締							
法							
違							
反							
の							

(注) 1 「強制わいせつ・強姦」にはそれぞれの致死傷を、「傷害」には傷害致死及び暴行を、「自動車運転過失致死傷」には業務上過失致死傷及び重過失致死傷を、「強盗」には強盗致死傷及び強盗強姦・同致死を含む。
2 18表（「13-00-18」）参照

さらに、男女別に上位5位までの罪名で見ると、男は、窃盗、覚せい剤取締法違反、詐欺、傷害、道路交通法違反の順で、女は、窃盗、覚せい剤取締法違反、詐欺、道路交通法違反、殺人の順となっており、平成24年と同じ順となっている。女の場合、覚せい剤取締法違反及び窃盗の構成比がおよそ80%を占めているとともに、上位に殺人が挙げられている点が大きな特徴である。

なお、最近10年間の新受刑者のうち、覚せい剤取締法違反の人員の推移は、第12表のとおりである。平成25年における覚せい剤取締法違反の人員総数は前年と比べ463人（7.2%）減少した5,990人（男5,182人、女808人）となっている。

第12表 新受刑者のうち覚せい剤取締法違反の人員の推移

区	分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
人	員										
総	数	6,165	6,960	6,802	6,125	6,233	6,086	6,569	6,570	6,453	5,990
男		5,456	6,193	6,018	5,385	5,460	5,297	5,708	5,687	5,594	5,182
女		709	767	784	740	773	789	861	883	859	808
構	成										
総	比	19.2	21.2	20.6	20.1	21.5	21.5	24.3	25.8	26.0	26.3
男		18.1	20.2	19.6	19.0	20.4	20.3	22.9	24.4	24.8	25.1
女		35.4	35.2	33.6	34.0	35.2	36.4	39.0	39.7	38.6	38.3

(注) 18表（「13-00-18」）参照

(4) 新受刑者の刑名・刑期

平成25年における新受刑者の刑名別人員は、第13表のとおりである。

第13表 新受刑者の刑名別人員

区	分	総	懲	役	禁	錮	拘	留	死	刑
人	員	22,755	22,631	112				4	8	
(構	(100.0)	(99.5)	(0.5)				(0.0)	(0.0)	
成	比)									

(注) 19表(「13-00-19」)参照

このうち、懲役及び禁錮受刑者の刑期別人員は、第14表のとおりである。懲役受刑者の刑期別人員は、2年以下が8,424人(37.2%)と最も多く、次いで、3年以下が5,296人(23.4%)、1年以下が4,730人(20.9%)となっている。禁錮受刑者については、2年以下が48人(42.9%)と最も多い。

第14表 新受刑者のうち懲役及び禁錮受刑者の刑期別人員

区	分	総	1年	2年	3年	5年	5年	無	期
懲	員	22,631	4,730	8,424	5,296	2,878	1,264	39	
人	((100.0)	(20.9)	(37.2)	(23.4)	(12.7)	(5.6)	(0.2)	
(構								
成	比)								
禁	員	112	27	48	29	8	-	-	
人	((100.0)	(24.1)	(42.9)	(25.9)	(7.1)	(-)	(-)	
(構								
成	比)								

(注) 19表(「13-00-19」)参照

(5) 新受刑者の入所度数

平成25年における新受刑者の入所度数別人員は、第15表のとおりである。

第15表 新受刑者の入所度数別人員

区	分	総	初	2	3	4	5	6	6
人	員	22,755	9,348	4,141	2,713	1,860	1,225	3,468	
(構	(100.0)	(41.1)	(18.2)	(11.9)	(8.2)	(5.4)	(15.2)	
成	比)								
対	前	-8.2	-9.0	-6.2	-7.8	-11.0	-9.1	-6.5	
年	比)								

(注) 23表(「13-00-23」)参照

次に、最近10年間の新受刑者のうち、初入者及び再入者人員の推移は、第16表のとおりである。初入者は、平成5年以降増加傾向を示していたが、同17年から減少し始めた。また、平成18年から8年連続して再入者が初入者を上回っている。

第16表 新受刑者のうち初入者・再入者人員の推移

区	分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
総	数	32,090	32,789	33,032	30,450	28,963	28,293	27,079	25,499	24,780	22,755
初	入	16,591	16,573	16,504	14,863	13,347	12,775	11,874	10,865	10,275	9,348
(構	(51.7)	(50.5)	(50.0)	(48.8)	(46.1)	(45.2)	(43.8)	(42.6)	(41.5)	(41.1)
成	比)										
再	入	15,499	16,216	16,528	15,587	15,616	15,518	15,205	14,634	14,505	13,407
(構	(48.3)	(49.5)	(50.0)	(51.2)	(53.9)	(54.8)	(56.2)	(57.4)	(58.5)	(58.9)
成	比)										

(注) 23表(「13-00-23」)参照

(6) 新受刑者のうち初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴

平成25年の新受刑者のうち、初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴別人員は、第17表のとおりである。保護処分歴を有する者は1,328人（14.2%）、刑の執行猶予歴を有する者は5,969人（63.9%）となっている。

第17表 初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴別人員

区分	総数	保護処分歴					刑の執行猶予歴	
		あり	少年院送致	児童自立支援施設・児童養護施設送致	保護観察なし	あり	なし	
人員	9,348	1,328	804	26	498	8,020	5,969	3,379
(構成比)	(100.0)	(14.2)	(8.6)	(0.3)	(5.3)	(85.8)	(63.9)	(36.1)

(注) 30表（「13-00-30」）参照

(7) 新受刑者のうち暴力団加入者人員

最近10年間の新受刑者のうち、暴力団加入者人員の推移は、第18表のとおりである。平成25年は前年に比べ205人減少した1,889人となっており、新受刑者に占める構成比も0.2%低下した8.3%となっている。

第18表 新受刑者のうち暴力団加入者人員の推移

区分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
総数	32,090	32,789	33,032	30,450	28,963	28,293	27,079	25,499	24,780	22,755
人員	4,244	4,612	4,143	3,665	3,265	2,960	2,592	2,359	2,094	1,889
(構成比)	(13.2)	(14.1)	(12.5)	(12.0)	(11.3)	(10.5)	(9.6)	(9.3)	(8.5)	(8.3)

(注) 46表（「13-00-46」）参照

3 再入受刑者

(1) 再入受刑者の再犯期間

最近10年間の再入受刑者（前刑出所前の犯罪により再入所した者を除く。）の再犯期間（前回の刑の執行を受けて出所した日から再入に係る罪を犯した日までの期間）別人員の推移は、第19表のとおりである。平成25年は1年未満が5,177人（39.1%）と最も多く、次いで、2年未満が2,804人（21.2%）、3年未満が1,647人（12.4%）の順となっている。

第19表 再入受刑者の再犯期間別人員の推移

区分	総数	再犯期間													
		1年未満		2年未満		3年未満		4年未満		5年未満		5年以上			
		人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)		
平成16年	15,258	6,076	(39.8)	1,800	(11.8)	3,194	(20.9)	1,698	(11.1)	1,016	(6.7)	676	(4.4)	2,598	(17.0)
17	15,997	6,425	(40.2)	2,062	(12.9)	3,306	(20.7)	1,881	(11.8)	1,111	(6.9)	749	(4.7)	2,525	(15.8)
18	16,361	6,588	(40.3)	1,953	(11.9)	3,327	(20.3)	2,015	(12.3)	1,156	(7.1)	767	(4.7)	2,508	(15.3)
19	15,402	6,389	(41.5)	1,982	(12.9)	3,244	(21.1)	1,802	(11.7)	1,049	(6.8)	740	(4.8)	2,178	(14.1)
20	15,443	6,313	(40.9)	1,943	(12.6)	3,245	(21.0)	1,864	(12.1)	1,117	(7.2)	764	(4.9)	2,140	(13.9)
21	15,355	6,289	(41.0)	1,951	(12.7)	3,293	(21.4)	1,820	(11.9)	1,084	(7.1)	779	(5.1)	2,090	(13.6)
22	15,034	5,877	(39.1)	1,813	(12.1)	3,265	(21.7)	1,900	(12.6)	1,123	(7.5)	786	(5.2)	2,083	(13.9)
23	14,464	5,719	(39.5)	1,722	(11.9)	3,076	(21.3)	1,871	(12.9)	1,124	(7.8)	735	(5.1)	1,939	(13.4)
24	14,296	5,618	(39.3)	1,708	(11.9)	2,954	(20.7)	1,776	(12.4)	1,154	(8.1)	799	(5.6)	1,995	(14.0)
25	13,233	5,177	(39.1)	1,457	(11.0)	2,804	(21.2)	1,647	(12.4)	1,007	(7.6)	742	(5.6)	1,856	(14.0)

(注) 54表（「13-00-54」）参照

(2) 再入状況

平成20年の出所受刑者31,632人（国際受刑者移送法により送出移送した者を除く。）について、同25年末までの再入状況は、第20表のとおりである。平成25年までの6年以内に再入所した者は、計13,365人（42.3%）となっている。また、満期釈放と仮釈放の別に6年以内再入者を比較すると、満期釈放は8,376人（53.0%）、仮釈放は4,989人（31.5%）となっている。

第20表 平成20年出所受刑者の平成25年末までの再入状況

出所事由	平成20年出所受刑者	再入年別人員及び構成比													
		平成20年		21		22		23		24		25		計	
		人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)		
総数	31,632	1,741	(5.5)	4,631	(14.6)	3,146	(9.9)	1,863	(5.9)	1,221	(3.9)	763	(2.4)	13,365	(42.3)
満期釈放	15,792	1,510	(9.6)	3,177	(20.1)	1,743	(11.0)	990	(6.3)	601	(3.8)	355	(2.2)	8,376	(53.0)
仮釈放	15,840	231	(1.5)	1,454	(9.2)	1,403	(8.9)	873	(5.5)	620	(3.9)	408	(2.6)	4,989	(31.5)

(注) 63表（「13-00-63」）及び64表（「13-00-64」）参照

(3) 出所後6年以内に再入所した者の推移

出所後6年以内に再入所した者（出所受刑者のうち、国際受刑者移送法により送出移送した者を除く。）の推移は、第21表のとおりである。再入率については9年連続して低下している。

第21表 出所後6年以内に再入所した者の推移

区分	出所年									
	平成11年	12	13	14	15	16	17	18	19	20
出所受刑者	23,125	23,715	25,714	27,308	28,170	29,526	30,025	30,584	31,297	31,632
(うち、再入人員)	(11,545)	(11,602)	(12,188)	(12,594)	(12,751)	(13,143)	(13,266)	(13,305)	(13,387)	(13,365)
再入率	49.9	48.9	47.4	46.1	45.3	44.5	44.2	43.5	42.8	42.3

(注) 63表（「13-00-63」）及び64表（「13-00-64」）参照

4 出所受刑者

(1) 出所受刑者の人員及び出所事由

最近10年間の出所受刑者の出所事由別人員の推移は、第22表のとおりである。平成25年における出所受刑者人員の総数は26,535人であり、前年に比べ950人（3.5%）減少している。これを男女別に見ると、男が24,186人（91.1%）、女が2,349人（8.9%）となっている。さらに、出所事由別に見ると、満期釈放が11,887人（44.8%）、仮釈放が14,623人（55.1%）、国際受刑者移送法による送出受刑者が25人（0.1%）となっている。

第22表 出所受刑者の出所事由別人員の推移

区分	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
人員総数	29,533	30,037	30,600	31,341	31,680	30,213	29,461	28,583	27,485	26,535
男	27,782	28,207	28,598	29,187	29,431	28,029	27,294	26,308	25,188	24,186
女	1,751	1,830	2,002	2,154	2,249	2,184	2,167	2,275	2,297	2,349
指数総数	100	102	104	106	107	102	100	97	93	90
男	100	102	103	105	106	101	98	95	91	87
女	100	105	114	123	128	125	124	130	131	134
出所事由別										
満期釈放 (構成比)	12,836 (43.5)	13,605 (45.3)	14,503 (47.4)	15,465 (49.3)	15,792 (49.8)	15,324 (50.7)	14,975 (50.8)	13,938 (48.8)	12,763 (46.4)	11,887 (44.8)
仮釈放 (構成比)	16,690 (56.5)	16,420 (54.7)	16,081 (52.6)	15,832 (50.5)	15,840 (50.0)	14,854 (49.2)	14,471 (49.1)	14,620 (51.1)	14,700 (53.5)	14,623 (55.1)
送出移送等 (構成比)	7 (0.0)	12 (0.0)	16 (0.1)	44 (0.1)	48 (0.2)	35 (0.1)	15 (0.1)	25 (0.1)	22 (0.1)	25 (0.1)

(注) 67表（「13-00-67」）参照

(2) 出所受刑者のうち仮釈放者の刑の執行状況

ア 有期懲役受刑者

平成25年における有期懲役受刑者のうち仮釈放者14,384人（仮釈放が取り消されて刑の執行を受け、更に仮釈放を許された者を除く。）についての刑の執行率は、第23表のとおりである。刑の執行率80～89%が6,843人（47.6%）と最も多く、次いで、90%以上が4,501人（31.3%）となっている。

第23表 有期懲役受刑者のうち仮釈放者の刑の執行率

区分	総数	刑の執行率				
		59%以下	60～69%	70～79%	80～89%	90%以上
人員	14,384	3	176	2,861	6,843	4,501
(構成比)	(100.0)	(0.0)	(1.2)	(19.9)	(47.6)	(31.3)
対前年比	-0.3	-75.0	-10.7	-5.9	-0.1	4.1

(注) 70表（「13-00-70」）参照

有期懲役受刑者の仮釈放者のうち、刑の執行率80%以上の者についての刑期別人員は、第24表のとおりである。総数では11,344人（78.9%）、刑期1年以下では970人（85.6%）、2年以下では3,846人（72.9%）、3年以下では3,327人（78.4%）となっており、平成24年の総数11,177人（77.5%）と比べて執行率の高い者の割合が増加している。

第24表 有期懲役受刑者の仮釈放者のうち刑の執行率80%以上の刑期別人員

区 分	総 数	刑 期				
		1年以下	2年以下	3年以下	5年以下	5年を超える
有期懲役仮釈放者のうち、刑の執行率80%以上の人員	14,384	1,133	5,274	4,241	2,650	1,086
有期懲役仮釈放者に占める比率	11,344	970	3,846	3,327	2,184	1,017
	78.9	85.6	72.9	78.4	82.4	93.6

(注) 70表(「13-00-70」)参照

イ 無期懲役受刑者

平成25年における無期懲役受刑者のうち仮釈放者(無期刑の仮釈放が取り消され、服役後再び仮釈放となった者2人を除く。)8人について、その受刑在所期間は、第25表のとおりである。仮釈放者の平均受刑在所期間は約374月(31年2月)である。

第25表 無期懲役受刑者のうち仮釈放者の受刑在所期間

区 分	総 数	14年以下	15年以下	16年以下	17年以下	18年以下	19年以下	20年以下	20年を超える
人 員	8	-	-	-	-	-	-	-	8
(構成比)	(100.0)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(100.0)

(注) 69表(「13-00-69」)参照

(3) 出所受刑者の刑務作業及び職業訓練など

平成25年における出所受刑者について、その在所時の刑務作業の業種別就業人員は、第26表のとおりである。業種別に見ると、経理作業(刑務所などの自主運営に必要な作業で、炊事、清掃及び看護などの作業)が5,238人(19.7%)と最も多く、次いで、織物製品製造が3,475人(13.1%)、紙・紙製品製造が2,993人(11.3%)、化学製品製造が2,498人(9.4%)の順となっている。

第26表 出所受刑者の刑務作業の業種別就業人員

業 種	人 員	構成比	人員の対前年比
総 数	26,535	100.0	-3.5
経 理 作 業	5,238	19.7	-7.0
織 物 製 品 製 造	3,475	13.1	0.0
紙 ・ 紙 製 品 製 造	2,993	11.3	3.1
化 学 製 品 製 造	2,498	9.4	-11.1
紙 細 工	2,181	8.2	-14.0
金属加工・機械組立修理	1,989	7.5	-5.1
木 工	984	3.7	9.6
ゴム・可塑性製品製造	605	2.3	-19.4
電気器具組立修理	729	2.7	16.5
金属材料製造	488	1.8	9.9
印 刷 ・ 製 本	404	1.5	-6.5
その他の技能工	399	1.5	-0.2
皮革・皮革製品製造	329	1.2	-12.0
飲 食 料 品 製 造	186	0.7	-10.6
農 耕 ・ 牧 畜	136	0.5	-26.5
製 糸 ・ 紡 績	131	0.5	101.5
サ ー ビ ス 工	91	0.3	-15.0
単 純 労 働 作 業	77	0.3	-3.7
そ の 他	3,573	13.5	4.3
不 就 業	29	0.1	-21.6

(注) 71表(「13-00-71」)参照

平成25年における出所受刑者の職業訓練種目別人員は、第27表のとおりである。総数2,894人（出所受刑者総数の10.9%）の、職業訓練修了者の受講種目の主な内訳を見ると、フォークリフト運転が231人（8.0%）と最も多く、次いで、ビル設備管理が225人（7.8%）、情報処理が180人（6.2%）、溶接が176人（6.1%）、ホームヘルパーが137人（4.7%）の順となっている。

第27表 出所受刑者の職業訓練種目別人員

業種	人員	構成比
総数	2,894	100.0
フォークリフト運転	231	8.0
ビル設備管理	225	7.8
情報処理	180	6.2
溶接	176	6.1
ホームヘルパー	137	4.7
販売サービス	131	4.5
建設機械	93	3.2
ビルハウスクリーニング	84	2.9
CAD技術	83	2.9
小型建設機械	60	2.1
農業園芸	44	1.5
自動車整備	44	1.5
クレーン	44	1.5
内装施工	42	1.5
電気通信設備	40	1.4
理容	39	1.3
その他	1,074	37.1
未修了者	167	5.8

(注) 72表（「13-00-72」）参照

平成25年における出所受刑者が取得した資格・免許の種類別人員は、第28表のとおりである。総数1,975人（出所受刑者総数の7.4%）の資格・免許の主な内訳を見ると、フォークリフト運転者が229人（11.6%）と最も多く、次いで、ボイラー技士が162人（8.2%）、溶接技能者が154人（7.8%）、危険物取扱者が124人（6.3%）、技能検定・技能照査が112人（5.7%）、車両系建設機械運転技能者が109人（5.5%）の順となっている。

第28表 出所受刑者が取得した資格・免許の種類別人員

種類	人員	構成比
総数	1,975	100.0
フォークリフト運転者	229	11.6
ボイラー技士	162	8.2
溶接技能者	154	7.8
危険物取扱者	124	6.3
技能検定・技能照査	112	5.7
車両系建設機械運転技能者	109	5.5
ホームヘルパー	107	5.4
CAD利用技術者	64	3.2
情報処理技術者	62	3.1
パソコン検定	60	3.0
技能講習	46	2.3
理容師	36	1.8
電気工事士	32	1.6
クレーンシグ	32	1.6
自動車整備士	28	1.4
ワークスプロ検定	25	1.3
その他	593	30.0

(注) 73表（「13-00-73」）参照

(4) 出所受刑者の帰住先

平成25年における出所受刑者（満期釈放者及び仮釈放者）の出所事由別の帰住先は、第29表のとおりである。総数で見ると、親族のものが12,587人（47.5%）と最も多く、次いで、更生保護施設等が4,664人（17.6%）、知人のものが1,797人（6.8%）の順となっている。出所事由別で見ると、満期釈放では、親族のものが3,865人（32.5%）と最も多く、次いで、知人のものが844人（7.1%）、更生保護施設等が457人（3.8%）となっている。仮釈放では、親族のものが8,722人（59.6%）、次いで、更生保護施設等が4,207人（28.8%）、知人のものが953人（6.5%）の順となっている。

第29表 出所受刑者の出所事由別の帰住先

帰住先	総数					
	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)
	満期釈放		仮釈放			
総数	26,510	(100.0)	11,887	(100.0)	14,623	(100.0)
親族のものと	12,587	(47.5)	3,865	(32.5)	8,722	(59.6)
父,母のものと	7,686	(29.0)	2,156	(18.1)	5,530	(37.8)
配偶者のものと	2,511	(9.5)	780	(6.6)	1,731	(11.8)
兄弟,姉妹のものと	1,402	(5.3)	540	(4.5)	862	(5.9)
その他の親族のものと	988	(3.7)	389	(3.3)	599	(4.1)
知人のものと	1,797	(6.8)	844	(7.1)	953	(6.5)
雇主的ものと	214	(0.8)	71	(0.6)	143	(1.0)
社会福祉施設	312	(1.2)	282	(2.4)	30	(0.2)
更生保護施設等	4,664	(17.6)	457	(3.8)	4,207	(28.8)
その他	6,936	(26.2)	6,368	(53.6)	568	(3.9)

(注) 83表（「13-00-83」）参照

(5) 出所受刑者の懲罰回数

平成25年における出所受刑者の初入・再入別懲罰回数は、第30表のとおりである。在所時に懲罰を受けた者は14,306人（出所受刑者総数の53.9%）となっている。初入・再入別で見ると、初入で懲罰を受けた者は5,539人（出所受刑者のうち初入者総数の48.8%）であり、再入で懲罰を受けた者は8,767人（出所受刑者のうち再入者総数の57.7%）となっている。

第30表 出所受刑者の初入・再入別懲罰回数

区分	総数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	なし
総数	26,535	5,332	2,613	1,488	1,039	729	3,105	12,229
(構成比)	(100)	(20.1)	(9.8)	(5.6)	(3.9)	(2.7)	(11.7)	(46.1)
初入	11,344	2,331	1,100	550	377	240	941	5,805
(構成比)	(100)	(20.5)	(9.7)	(4.8)	(3.3)	(2.1)	(8.3)	(51.2)
再入	15,191	3,001	1,513	938	662	489	2,164	6,424
(構成比)	(100)	(19.8)	(10.0)	(6.2)	(4.4)	(3.2)	(14.2)	(42.3)

(注) 78表（「13-00-78」）参照

5 休養患者 — 被収容者のり病状況

平成25年における休養患者（医師の診断を受けた者のうち、医療上の必要により病室又はこれに代わる室に収容されて治療を受けた者）の人員は、既決拘禁者（受刑者、死刑確定者及び労役場留置者）が14,597人（男13,333人、女1,264人）、未決拘禁者（被告人、被疑者など）が646人（男583人、女63人）である。

このうち、既決拘禁者についての主要病名別転帰事由別人員は、第31表のとおりである。病名別で見ると、呼吸器系の疾患が4,659人（31.9%）と最も多く、次いで、消化器系の疾患が2,352人（16.1%）、筋骨格系・結合組織の疾患が1,914人（13.1%）の順となっている。また、総数を転帰事由別に見ると、治癒又は軽快が13,167人（90.2%）、後遺が400人（2.7%）の順となっている。

なお、休養患者の平均り病日数は、既決拘禁者が37日、未決拘禁者が288日となっている。

第31表 休養患者の主要病名別転帰事由別人員（既決拘禁者）

病名	総数	構成比	総数	転 帰 事 由				
				治癒又は軽快	死亡	未治出所	後遺	その他
総数	14,597	100.0	14,597	13,167	284	396	400	350
			(100.0)	(90.2)	(1.9)	(2.7)	(2.7)	(2.4)
感染症・寄生虫症	490	3.4	490	385	7	25	27	46
			(100.0)	(78.6)	(1.4)	(5.1)	(5.5)	(9.4)
新生物	664	4.5	664	362	113	50	44	95
			(100.0)	(54.5)	(17.0)	(7.5)	(6.6)	(14.3)
内分泌、栄養・代謝疾患	263	1.8	263	222	4	14	10	13
			(100.0)	(84.4)	(1.5)	(5.3)	(3.8)	(4.9)
精神・行動の障害	722	4.9	722	440	2	77	168	35
			(100.0)	(60.9)	(0.3)	(10.7)	(23.3)	(4.8)
神経系の疾患	213	1.5	213	170	2	15	17	9
			(100.0)	(79.8)	(0.9)	(7.0)	(8.0)	(4.2)
循環器系の疾患	740	5.1	740	560	57	48	36	39
			(100.0)	(75.7)	(7.7)	(6.5)	(4.9)	(5.3)
呼吸器系の疾患	4,659	31.9	4,659	4,584	25	28	10	12
			(100.0)	(98.4)	(0.5)	(0.6)	(0.2)	(0.3)
消化器系の疾患	2,352	16.1	2,352	2,211	31	35	26	49
			(100.0)	(94.0)	(1.3)	(1.5)	(1.1)	(2.1)
皮膚・皮下組織の疾患	503	3.4	503	487	-	9	1	6
			(100.0)	(96.8)	(-)	(1.8)	(0.2)	(1.2)
筋骨格系・結合組織の疾患	1,914	13.1	1,914	1,851	1	34	23	5
			(100.0)	(96.7)	(0.1)	(1.8)	(1.2)	(0.3)
腎尿路生殖器系の疾患	343	2.3	343	279	6	24	17	17
			(100.0)	(81.3)	(1.7)	(7.0)	(5.0)	(5.0)
損傷・中毒	319	2.2	319	283	17	12	2	5
			(100.0)	(88.7)	(5.3)	(3.8)	(0.6)	(1.6)
その他	1,415	9.7	1,415	1,333	19	25	19	19
			(100.0)	(94.2)	(1.3)	(1.8)	(1.3)	(1.3)

- (注) 1 既決拘禁者について調査したものである。
2 「未治出所」とは、治癒に至らないうちに満期、仮釈放又は刑の執行停止により出所した者をいう。
3 「後遺」とは、12月31日現在において未治癒の者をいう。
4 「その他」とは、他の矯正施設に移送になった者等をいう。
5 () 内の数字は、各病名に対する転帰事由別構成比である。
6 87表（「13-00-87」）及び88表（「13-00-88」）参照